

問1 日本の標準時を決める東経135度の経線が通り、1995年に阪神・淡路大震災が発生した県はどこですか。（2017年 北海道公立入試 類似）

1. 大阪府                                      2. 兵庫県                                      3. 岡山県                                      4. 京都府

問2 ある地域における統計において、人口密度が1平方キロメートルあたり564.4人と比較的高く、国から指定された伝統的工芸品の品目数が17品目にのぼる府県があります。この地域の産業的特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2020年 愛知公立入試 類似）

1. 長い歴史の中で都として栄えた背景から、西陣織や清水焼などの高い技術を要する工芸品が現代まで数多く継承されている。      2. 人口密度が高いため、都市近郊農業と並行して、九谷焼などの色鮮やかな陶磁器を大規模な工場生産している。      3. 伝統的工芸品の種類は多いが、人口密度が高いため職人の確保が難しく、小千谷縮のように農村部の副業として発展した品目を中心とする。      4. 輪島塗のような漆器産業が17品目のうち過半数を占めており、近畿地方における伝統工芸の供給拠点となっている。

問3 近畿地方の諸県を比較した統計資料において、奈良県の「海面漁業生産額」が0となっている地理的な理由として、最も適切な説明はどれですか。（2015年 長野県公立入試 類似）

1. 県域がすべて陸地に囲まれた内陸県であり、海に面していないため。      2. 紀伊山地の森林資源が豊富であり、産業の軸が林業に特化しているため。      3. 重要文化財などの歴史的景観を保護するため、水産加工場の建設が禁止されているため。      4. 県内の漁業者がすべて琵琶湖での淡水漁業に従事しており、海での操業を行わないため。

問4 近畿地方の府県を比較した統計において、二〇一九年の工業製品出荷額が突出して高く、二〇二二年の重要文化財指定件数も全国有数の規模である一方で、二〇一八年の住宅一戸建率が相対的に低くなっている県として、最も適切なものはどれか。（2023年 徳島公立入試 類似）

1. 兵庫県                                      2. 滋賀県                                      3. 和歌山県                                      4. 奈良県

問5 日本の地方区分において、近畿地方に含まれる府県の構成とその境界に関する記述として正しいものはどれですか。（2021年 山口公立入試 類似）

1. 三重県を含めた2府5県で構成されており、三重県と愛知県・岐阜県との間が中部地方との境界になる。      2. 三重県を除いた2府4県で構成されており、滋賀県や奈良県と三重県との間が中部地方との境界になる。      3. 大阪府と京都府の2府のみで構成されており、それ以外の周囲の県はすべて中部地方や中国地方に含まれる。      4. 兵庫県から岡山県までの範囲を含めた2府6県で構成されており、兵庫県と岡山県の間が中国地方との境界になる。

問6 日本の観光産業に関する記述として、京都府の特徴を説明したものを選びなさい。（2019年 佐賀公立入試 類似）

1. 伝統文化への関心が高いアメリカ合衆国など、欧米からの宿泊客が他県より多い傾向にある。      2. アジア近隣諸国からの格安航空会社（LCC）利用客が、安価な日用品の大量購入を目的に訪れる。      3. 自動車産業の拠点が集積しているため、欧米からのビジネス目的の宿泊客が過半数を占める。      4. 自然景観の保護を優先するため、外国人の宿泊施設利用を厳しく制限している。

問7 滋賀県の2015年から2045年にかけての年齢3区分別人口の推移について、将来推計から読み取れる傾向として適切なものはどれですか。（2022年 滋賀公立入試 類似）

1. 生産年齢人口と年少人口がともに減少し、老年人口のみが増加する。      2. 総人口の減少に伴い、年少・生産年齢・老年すべての区分が減少する。      3. 年少人口と老年人口がどちらも増加することで、総人口の減少が相殺される。      4. 老年人口の増加よりも年少人口の減少が緩やかなため、少子化が改善に向かう。

問8 近畿地方のある府県では、2015年の統計によると外国人宿泊者数のうち中国からの観光客が約81万7千人と最も多いものの、アメリカ合衆国からの宿泊客も約45万1千人にのぼります。他地域に比べて欧米諸国からの割合が高いこの府県において、多くの外国人観光客が訪れる主な目的として最も適切なものはどれですか。（2019年 佐賀公立入試 類似）

1. 歴史ある神社仏閣を巡り、日本の伝統文化に触れること      2. 大規模な工業地帯を見学し、ビジネス交流を行うこと      3. 最新の電化製品やアニメなどのサブカルチャー商品を購入すること      4. 熱帯の自然環境を活かしたレジャーやマリンスポーツを楽しむこと

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 2</b> <b>兵庫県</b>	日本の標準時子午線である東経135度は、兵庫県の明石市などを通過しています。また、1995年には神戸市や淡路島を中心に阪神・淡路大震災が発生し、大きな被害をもたらしました。大阪府は兵庫県の東隣、岡山県は西隣に位置しますが、標準時子午線の通る代表的な都市（明石市）があるのは
問2	<b>答え 1</b> <b>長い歴史の中で都として栄えた背景から、西陣織や清水焼などの高い技術を要する工芸品が現代まで数多く継承されている。</b>	統計に示された人口密度の特徴や、17品目という非常に多くの伝統的工芸品指定を受けている事実は、古くから日本の政治・文化の中心地であった京都府の特徴を示しています。京都では貴族や寺院、茶の湯の文化などを支えるために、西陣織（織物）や清水焼（陶磁器）といった、職人の高度な手作業による多種多様な工芸品が発展しました。他の選択肢に含まれる九谷焼、小千谷縮、輪島塗はそれぞれ北陸地方の工芸品であり、京都の歴史的背景とは異なります。
問3	<b>答え 1</b> <b>県域がすべて陸地に囲まれた内陸県であり、海に面していないため。</b>	奈良県は日本に8つある内陸県（栃木県、群馬県、埼玉県、山梨県、長野県、岐阜県、滋賀県、奈良県）の一つです。海に面した海岸線を持たないため、物理的に「海面」での漁業を行うことができず、統計上の数値はゼロになります。選択肢にある「琵琶湖」は滋賀県に位置する日本最大の湖であり、奈良県の地理的特徴とは合致しません。
問4	<b>答え 1</b> <b>兵庫県</b>	兵庫県は、阪神工業地帯や播磨臨海工業地帯を擁しているため、近畿地方の中でも工業製品出荷額が非常に高いという特徴があります。また、古くから開けた地域であり、姫路城をはじめとする重要文化財も豊富です。その一方で、神戸市や阪神間の都市部において人口密度が高く、マンションなどの集合住宅が普及しているため、住宅一戸建率は他の県に比べて低くなる傾向にあります。
問5	<b>答え 1</b> <b>三重県を含めた2府5県で構成されており、三重県と愛知県・岐阜県との間が中部地方との境界になる。</b>	近畿地方の範囲を特定する際、三重県の扱いが重要になります。学校教育などで用いられる標準的な7地方区分では、三重県は近畿地方の東端として定義されています。したがって、近畿地方（三重県）と中部地方（愛知県、岐阜県など）の境界は、三重県の県境に位置することになります。岡山県は中国地方に、滋賀県や奈良県は近畿地方に明確に区分されます。
問6	<b>答え 1</b> <b>伝統文化への関心が高いアメリカ合衆国など、欧米からの宿泊客が他県より多い傾向にある。</b>	2015年のデータにおいて、京都府は中国からの宿泊客数に次いでアメリカ合衆国からの宿泊客数が多いことが示されています。これは、京都が持つ「伝統的な日本」というブランドイメージが欧米諸国で強く支持されているためです。ビジネス客が中心の地域や、買い物客が中心の地域とは異なる、独自の観光客層（文化観光）を形成している点が地理的な特徴として挙げられます。
問7	<b>答え 1</b> <b>生産年齢人口と年少人口がともに減少し、老年人口のみが増加する。</b>	滋賀県の人口構成の推計では、15歳から64歳の生産年齢人口と0歳から14歳の年少人口は一貫して減少傾向にあります。対照的に65歳以上の老年人口は増加を続け、2045年には老年人口が年少人口の約2.7倍という極めて高い水準に達することが予測されており、労働力不足や高齢者支援のあり方が今後の重要な論点となります。
問8	<b>答え 1</b> <b>歴史ある神社仏閣を巡り、日本の伝統文化に触れること</b>	京都府は、古くからの神社仏閣や街並みが数多く残されており、日本の伝統文化を体験したいと考える外国人観光客にとって非常に人気の高い観光地です。特にアメリカ合衆国などの欧米諸国からの観光客は、単なるショッピングやビジネスではなく、歴史的価値のある文化遺産の観光を重視する傾向があるため、他の都市部と比較して欧米からの宿泊者割合が顕著に高いという特徴があります。